

1 指定管理施設の概要

施設名	東舞鶴公園、泉源寺公園、前島みなと公園、舞鶴文化公園、伊佐津川運動公園、東体育館		
指定管理者	舞鶴スポーツネットワーク		
設置目的	市民が、生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、様々なスポーツ・レクリエーション活動を行える施設として、また、市民ニーズに対応した各種スポーツ事業等の実施を通じて市民のスポーツ活動の振興を図り、健康の維持増進に資する施設として、さらには、大会誘致、宿泊誘致などスポーツの観光交流を積極的に推進し、スポーツを通じた地域づくりに資する施設として、施設を拠点とした戦略的なスポーツ事業の展開を行うため。また、来園者に憩いの場、レクリエーションの場を提供するため。		
選定方法	公募	指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日
所管課	生涯学習部スポーツ振興課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数(人)	291,522	286,404			
利用料金(円)	44,708,141	43,765,929			
指定管理料(円)	87,870,000	89,205,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
利用人数	330,000人	340,000人	286,404人	84.2%
自主事業の実施回数	100回(1200回延べ)	1200回	925回	77.1%

4 収支状況

収入		支出	
利用料金	43,765,929	人件費	72,307,822
指定管理料	89,205,000	維持管理費	27,696,024
事業収入	8,843,500	事業費	10,662,935
その他	9,188,674	その他	48,174,477
合計	151,003,103	合計	158,841,258
差額			△7,838,155

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	利用者数・自主事業数ともに目標には届かなかった。自社ホームページでの混雑状況の開示など、利用者が快適に利用しやすい環境作りに取り組んでいただいた。また、自主事業としては、多世代の多様なニーズに応えるプログラムの工夫やピックルボール大会の開催など、ニュースポーツも取り入れながら、幅広い方が参加できる内容で実施され、スポーツを始めるきっかけ作りに貢献いただいた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	SNSを活用した積極的な情報開示のほか、多種多様なプログラムの提供やスポーツ大会の開催により、利用者数の増加に務め本市スポーツの普及・振興に資する運営が行われた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	スポーツ・レクリエーション活動の実施環境の提供や、各種スポーツ教室の実施や大会の開催のほか、憩いの場として公園施設の利用の提供が行われた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	市指定事業は計画どおり実施された。 自主事業において、こどもから大人までの幅広い年齢層に参加してもらえるプログラムの提供など多種目の教室を開催したが、教室参加者数は7,723名(前年度比93.7%)となり、目標数値には届かなかったものの計画になかった事業を多数実施された。 競技者の減少など環境変化が厳しい状況の中ですが、誰もが参加しやすい教室の開催や周知方法を工夫する中で各事業の参加者数の増加に期待する。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	△	新たな教室や自主大会の開催により、利用者増加に向けた取り組みを行っていただいたが、競技者数の減少等により、利用者数の増加及び利用率の上昇とはなりませんでした。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	大きな苦情やトラブルも無く、利用者が増加する施設もあり、良好に管理運営されたものとする。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	引き続きWEBアンケートを活用し、意見・要望の把握に積極的に取り組み、アンケートで出た意見を施設運営にも反映された。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	苦情は、随時市に報告され必要に応じ協議を行い、適切に対応された。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	光熱水使用量の見える化によるスタッフの意識向上を図り、こまめな消灯や無駄な給水を止め、経費削減に取り組まれたほか、施設の利用傾向などを分析したシフトコントロールやスタッフが修繕対応することによる修繕費の縮減など、計画内の支出になるよう削減が図られた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	◎	業務内容の精査や相見積もりなどによる費用の適正化を図られたほか、原価高騰の影響を受ける中、業務の内製化を進め、経費の縮小に取り組まれた。
収入増加のための取組が行われたか	△	収入は、計画には届かなかったが、幅広い年代の多様なニーズに応える教室やイベントの開催、物販、広報等を実施しているほか、キャッシュレス決済の導入により、会計の省力化を図られました。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	計画書に示された人件費の中で計画どおり事業の実施及び施設利用の向上に向けて取り組みが行われた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	定期的な研修により各個人のスキルアップが図られた。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例、規則等に基づく平等な利用が行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	個人情報の管理は適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	HPや窓口などで適切に情報提供がなされた。
収支状況や会計処理が適切か	○	会計処理等に不備はなく、支出を計画内で行われているが、収入が計画に届いていないため、収入アップの取組に期待する。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	年間のスケジュール表を作成し漏れが無いよう適切に行われた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	定期的な点検を行うほか、台帳はデータ等により適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	体制整備やマニュアルの作成、研修の実施など安全対策等は十分に図られた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われた。
(5) その他コメント		
サービス向上	利用者アンケートから出た意見を運営に反映されたほか、キャッシュレスの導入や混雑状況の開示など、サービス向上・利用者増加に努められた。教室・イベントの開催においては、新規メニューを作成されたほか、自主大会の開催など、幅広い年代の多くの方に参加いただけるよう改善が図られており、次年度以降も適宜見直しを行い、実施回数・参加者数ともに増加になるよう努めてほしい。	
経費削減	最低賃金の大幅な上昇により人件費が増大したにも関わらず、業務内容の適正化や、光熱水使用量の見える化、軽微な作業や点検の自主実施など、自社のソフト・ハード両面の強みを活用して経費の節減に努められており、令和7年度事業においては計画内の支出となった。今後も引き続き、更なる経費の削減に努めてほしい。	
施設の維持・管理	スポーツ施設、公園施設ともに適切な維持管理が行われた。点検マニュアルやチェックリストを活用した施設や遊具の日常点検や巡回を行い、迅速な修繕対応の実施や市への報告など施設利用者の安心・安全を第一に管理いただいている。これからも、市との情報共有に努め、最小限の経費で効率的、効果的な維持管理運営に努めてほしい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	2.62点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	・利用者アンケートをサンプリングして事業等を実施してみようか。 ・累積赤字が不安である。改善するために今後の対応を検討すべき。 ・収支報告の内訳（特に「その他支出」）を詳細に記載してほしい。 ・事業は多くされているが、経費、内容が明確ではない。	

《参考》 過年度の評価点

令和6年度	年度	年度	年度	年度	平均
3.16点					